

令和7年度 第1回

丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

日 時：令和7年6月18日（水）19時～

場 所：丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付・自己紹介
- 3 あいさつ
- 4 正副委員長の選出（互選）
 - ・委員長：
 - ・副委員長：
- 5 令和6年度の事業実績について …P1
- 6 令和7年度の進捗状況について …P6
- 7 その他
- 8 閉 会

報告事項

令和6年度の事業実績について

1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を活かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図った。

【予算現額（当初予算）】1,116千円（1,196千円） 【決算】1,135,878円

運営委員報酬、修繕費（業務用三脚オーバーホール、音声ミキサー修理等）

著作権フリー音源使用料、備品購入費（映像サーバー2台、液晶テレビモニター）等

(1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

○第1回：6月26日（水）

協議内容：令和5年度事業実績、令和6年度事業計画進捗等

○第2回：10月9日（水）

協議内容：令和6年度事業実施状況、令和7年度事業計画と予算要求等

(2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、教材作成や広報用映像・音声の制作等の支援・指導を行った。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、BGM（著作権フリー音楽）、メディア複製機器（DVD、BD）等

○R6利用件数 327件 月平均 27件 (R5 408件 R4 432件)

○新規利用者数 34人 (R5 49人 R4 55人) 【詳細は資料 P1, 2, 3】

(3) 視聴覚機器の貸し出しと活用支援

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で市民及び団体に貸し出すとともに、操作方法などの助言を行った。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台、プロジェクター4台、スクリーン6台、ブルーレイプレーヤー2台 ほか

○R6貸出件数 400件 月平均 33件 (R5 391件 R4 371件)

○新規利用者数 49人 (R5 46人 R4 38人) 【詳細は資料 P1, 2, 4】

(4) 映像記録及び映像制作

市役所内各部署から依頼があった映像制作・支援を行った。

【詳細は資料 P6】

【事業の効果】

令和5年度より、編集室の利用件数が81件の減少、貸出機材の利用件数が9件の増加となった。市民の利用にあたっては、地域や家族映像の保存・編集等、映像制作を通じた学び、生きがい作りの支援に役割を果たしている。

市役所内部の制作依頼は「国際博関連動画」や「マトの部屋オープン」・「今田認定こども園開園式」のほか、市内3高等学校の学校紹介映像等、合計23件の制作および、支援を行った。

2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像をインターネット配信している「丹波篠山動画データベース」へのデータ追加を行った。また、ささやまビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力のもと、地域映像ニュースや「丹波篠山まるいのTV」の制作・配信に取り組んだ。

【予算現額（当初予算）】 2,363千円（2,413千円） 【決算】 2,315,010円
まるいのTV 司会謝礼、ビデオ収録協力謝金

(1) 丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信

①地域映像ニュースを制作し、配信する映像情報の充実を図った。

- ・5/3 丹波焼の里春ものがたり
- ・8/15 第71回丹波篠山デカンショ祭
- ・9/24 水曜どうでしょうキャラバン来篠！
- ・10/20 丹波篠山城下町春日神社祭礼 等

合計制作本数：18本（R5 13本 R4 16本）

【詳細は資料P7】

(2) 丹波篠山まるいのTVの制作・配信

①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」番組で収録し、2カ月に1度、最終金曜日にインターネットで配信した。

②収録にあたっては、ビデオサークル「レインボー」や篠山鳳鳴高校放送部等の協力を得て実施した。

○配信回数 6回 視聴数計：3,217件 ○月平均 536回

○チャンネル登録者数 560人（46人増）

【詳細は資料P8】

③聴覚障がいのある方などへの対応として、テロップ入り映像の制作を行った。

④YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布して施設内での上映を依頼している。

○配布箇所：17施設（市役所市民ホール、丹南支所、医療施設他）

(3) 映像づくりワークショップの開催

7月21日と9月29日の2回、映像祭実行委員の岩田瑞希さんを講師に迎え、「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」参加に向けたスマートフォンで映像編集を行うワークショップを開催した。

7/21は6名、9/29は3名（申し込みは5名）の参加があった。

- 撮影ワークショップ：篠山城跡周辺
- 編集ワークショップ：丹波篠山市民センター

(4) 丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作

- 7/16～ 最古の登り窯 修復の記録（まくら作り・修復作業）
- 7/28 篠山春日神社祭礼お囃子撮影
- 1/28 今田町上立杭「採燈護摩」

(5) 「画像付き音声動画」YouTube 配信

朗読ボランティアグループが朗読した「市広報丹波篠山」（配信回数12回）や「議会だより」（配信回数4回）の紙面画像付き音声動画を制作・配信した。

(6) 動画データベース利用促進及びSNSチャンネルの普及

動画データベースの利用促進及び周知のため、広報紙・図書館だよりへの映像紹介や「毎月10日は図書館の日」にける視聴覚ホールでの上映などを行った。

【事業の効果】

「市民動画づくりワークショップ」を開催したことで、映像制作初心者が丹波篠山映像祭へ作品を応募することにつながった。

また、丹波篠山まるいのTVや地域映像ニュースの制作を通じて篠山春日神社祭礼の鉾山で演奏するお囃子の練習風景の撮影や、今田町上立杭の「採燈護摩」など、地域に残る貴重な行事を映像として記録した。

3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行った。

【予算現額（当初予算）】361千円（427千円） 【決算】273,333円

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険

(1) ICTふれあいサロンの運営

情報通信に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行った。

○R6利用人数 延べ976人 月平均81人 (R5:1,040人 R4:1,104人)

※新規利用者数 25人 (R5:51人、R4:33人) 【詳細は資料P1,5】

【事業の効果】

ICT ふれあいサロンのサポートスタッフは、平成21年4月にボランティアでの運営に切り替わり、令和6年度は、令和5年度に引き続き11人（男9、女2）体制での運営となった。

利用延べ人数は976人と前年度より64人減少し、その内515人（52.8%）が「サポート必要」での利用。「サポート必要」で利用された方で、目的を達成された方は449人（87.5%）と目的を達成されている方が多い。

実利用者108人の年齢別詳細は、10代1人（1%）、20代0人（0%）、30代4人（4%）、40代3人（3%）、50代10人（9%）、60代23人（21%）、70代38人（35%）、80代29人（27%）となっており、60歳以上が83%を占め、高齢者の学びの意欲が高い結果となっている。

4 全国アマチュア映像コンテスト事業（丹波篠山映像祭）

丹波篠山映像祭を、令和7年2月に開催した。

映像コンテスト「第36回丹波篠山映像大賞」では、テーマ「生きる」で映像を募集し公開審査を行った。

また、実行委員会への委託業務である「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」では、丹波篠山の魅力が伝わる動画、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を1分以内の映像にした動画を募集し、丹波篠山の魅力を発信した。

【予算現額（当初予算）】1,000千円（1,000千円） 【決算】946,323円

映像大賞賞金・副賞代、審査委員・司会者謝礼、映像祭実行委員会への事業委託料

(1) 丹波篠山映像祭の開催

○開催日：令和7年2月2日（日）

○会場：四季の森生涯学習センター多目的ホール

○内容：・第36回丹波篠山映像大賞（ファイナリスト6作品上映、講評、最終審査）

・「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」

（優秀賞、丹波篠山国際博賞発表）

・映像大賞結果発表・授賞式

【来場者数】405人

① 第36回丹波篠山映像大賞

○作品テーマ 「生きる」

○応募本数 63本（前年比1本増、市内からの応募無し）

○上位4作品

【映像大賞】：「千年の子守唄」（大永恵子 兵庫県宝塚市）

【兵庫県知事賞】：「私のパンの焼ける音」（蔵岡登志美 東京都杉並区）

【丹波篠山市議会議長賞】：「松ぼっくりと牛丼」（中野美子 神奈川県藤沢市）

【丹波篠山市教育長賞】：「84歳のビデオグラファー」

（静岡大成高等学校放送部 静岡県静岡市）

- 賞金・副賞・映像大賞 10万円 丹波焼オブジェ
 - ・兵庫県知事賞 5万円 丹波篠山特産品（丹波篠山牛）
 - ・丹波篠山議会議長賞 2万円 丹波篠山特産品（黒豆・山の芋）
 - ・丹波篠山市教育長賞 2万円 丹波篠山特産品（ぼたん鍋）

② 「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」(実行委員会へ委託)

「丹波篠山の魅力を世界に発信する映像」をテーマに、1分以内の映像を募集した。3本の優秀賞のうち1本は会場において投票数が最も多い作品を選出。お楽しみ抽選会も復活させた。また、令和7年4月から始まる丹波篠山国際博開催への機運を上げるために、国際博のイメージ映像を上映し、あわせて「丹波篠山国際博賞」を設け表彰した。

○応募本数 7本（市内4本、市外3本）

【優秀賞】・【丹波篠山】古き良き静寂を感じるひととき（石田美咲 福知山市）

・城下町をおさんぽしてみたよ（金子 睦 丹波篠山市）

・One Night in Tamba-Sasayama（清水健矢 丹波市）

【丹波篠山国際博賞】

・丹波篠山で神輿が階段を登るのはこの祭だけ！

（長澤高志 丹波篠山市）

○賞金 1万円

【詳細は資料 P9】

③各種イベントの実施

多くの市民の皆さまにお越しいただくために、VR体験や丹波焼ガラメン体験、篠山産業高校生によるワークショップ、プラネタリウムや視聴覚ライブラリーのアーカイブ映像の上映などを実施し、いずみ会の皆さんによるしし汁の販売や、キッチンカーの出店なども実施した。

事業の効果

「丹波篠山映像大賞」では、全国から63人のアマチュア映像作者から63本の応募があった。作品の公開審査や顕彰を行い、「生きる」というテーマの映像作品から、来場者の心の豊かさを育むなど市民の生きがいづくりに寄与することができた。

「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」では、視聴覚ライブラリー事業で実施した「映像づくりワークショップ」受講生からの応募があり、映像制作への興味を促せたことや、作者が知る丹波篠山を描いた作品の応募があり、来場者への関心を高めることができた。

また、令和7年度から始まる丹波篠山国際博開催に向けたイメージ映像を上映し、「丹波篠山国際博賞」を設置し、機運を高めた。

さらには、四季の森会館東館では、高校生や各種団体による協力のもとイベントを実施。しし汁の販売やキッチンカーの出店なども行い、賑わいをみせることで来客効果を高めることができた。

アンケートによる満足度も高く、より多くの方に映像祭を楽しんでいただくことができた。

審議事項

令和7年度の進捗状況について

1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算（昨年度予算）】1,003千円（1,196千円 前年度比193千円減）

運営委員報酬、消耗品費、修繕費（業務用機器点検、公用車車検ほか）

著作権フリー音源使用料等

(1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催 継続

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開催： 第1回（6月）、第2回（10月）

○任期：R7.4～R9.3

協議内容： 事業実績、事業計画等について

(2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援 継続

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声等の制作等の支援・指導を行う。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、メディア複製機器、著作権フリー音楽等

(3) 視聴覚機器の貸し出しと活用支援 継続

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台（HD2台、4K1台）、プロジェクター4台、スクリーン5台
ブルーレイディスクプレーヤー2台 ほか

(4) 映像記録及び映像制作 継続

市役所内各部署から依頼があった映像制作・支援及び視聴覚ライブラリーとしてのドキュメンタリーなどの映像制作を行う。

2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

【予算（昨年度予算）】297千円（2,413千円 前年度比 2,116千円減）

映像ワークショップ講師謝金、まるいのTV司会謝礼、ビデオ収録協力者謝金
備品購入費（無停電電源装置1台 64千円）

(1) 丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信 **継続**

- ①地域映像ニュースを随時制作し、配信する映像情報の充実を図る。
- ②撮影案件に職員が対応できない場合や、職員数以上の撮影人員が必要な場合などにおいて、映像撮影・編集を市内事業者に委託もしくはビデオサークルに協力を仰ぐ。

(2) 丹波篠山まるいのTVの制作・配信 **継続**

- ①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」として制作し、YouTubeで配信する。基本的に奇数月の最終金曜日に配信をする。
- ②収録は、ビデオサークルや篠山鳳鳴高校放送部等の協力を得て実施する。
- ③YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布する。また、字幕入りで制作し、配信・配布する。
配布箇所（市施設2、宿泊施設1、医療施設7、特老・老健7 合計17）

(3) 市民動画づくりワークショップの開催 **継続**

映像制作事業者による動画撮影・編集の技法を学ぶワークショップ（講座）を開催し、楽しく映像づくりに親しんでもらい、市民の映像制作の裾野を広げる。

(4) 丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作 **継続**

4Kカメラで地域の伝統行事や祭礼を随時撮影し、将来的に縮小・廃止される可能性があるものから優先的に記録していく。

(5) 「画像付き音声動画」YouTube配信 **継続**

朗読ボランティアが朗読した「市広報丹波篠山」や「議会だより」の画像付き音声動画を制作・配信する。

(6) 動画データベース利用促進及びSNSチャンネルの普及活動 **継続・新規**

動画DBの利用促進及び周知のため、広報紙への映像紹介・図書館だよりへの掲載や「毎月10日は図書館の日」における視聴覚ホールでの上映、市内小中学校情報教育担当者等への利用方法の周知など、利用促進にかかる呼びかけを実施する。

(7) **機材更新計画の策定** **新規**

業務用ビデオカメラについては導入後 17～18 年が経過しており、メーカー保有部品もなく修理ができない状況にある。

ビデオカメラや三脚のような「撮影系」、編集用 PC やソフトウェアなどの「編集系」、まるいの TV 収録時にかかるミキサーやスイッチャーなどの「収録系」、撮影動画データなどを保存する「保存系」、貸出用のビデオカメラやプロジェクターなどの「貸出系」とさまざまな機材を計画的に導入していくにあたり、業務に支障をきたさないよう 10 月までに更新計画を策定する。

3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICT ふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT 力」向上のための支援を行う。

【予算（昨年度予算）】420 千円（427 千円 前年度比 7 千円減）

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険

(1) **ICT ふれあいサロンの運営** **継続**

①パソコンの基本的操作に関する市民の相談窓口として「ICT ふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

②ICT ふれあいサロンの認知度をあげるために、広報等の強化を図る。

4 丹波篠山映像祭事業

これまでの「生きる」というテーマから「いまを未来へつなぐ」というテーマに変更し、丹波篠山から全国に向けて発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「第37回丹波篠山映像大賞」を開催する。

また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和7年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」を実施する。

【予算（昨年度予算）】1,470 千円（1,000 千円、470 千円の増）

記念品、協力者謝金、賞金、消耗品、食糧費、印刷製本費、郵便料等
丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料（470 千円）

(1) **第 37 回丹波篠山映像大賞の運営** **継続**

全国のアマチュア作者から、「今を未来へつなぐ」をテーマにした 7 分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過したファイナリスト 6 作品の公開審査を行い顕彰する。主催は丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市とし、事業運営は視聴覚ライブラリーが行う。

① 募集期間： 令和7年8月1日～令和7年11月30日（必着）

② 審査委員： 西垣吉春、能美龍太郎（NHK 神戸）、久保仁（サン TV）（予定）

- ③ 最終審査会：令和8年2月15日開催の丹波篠山映像祭で実施する
- ④ 賞：映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞各1作品
ファイナリスト賞2作品

(2) **令和7年度丹波篠山映像祭の開催** **継続**

丹波篠山映像祭は、「丹波篠山映像大賞」及び「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」を実施することにより、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催するとともに、映像に関心を持ち、自ら丹波篠山の魅力を発信するクリエイター誕生のための布石とする。

市内各種業者等にスポンサーを依頼し、協力いただける皆さんと共にイベント等を開催するなど横のつながりを作ることで、来場者増加に向けて取り組み、あわせて、映像祭の開催告知を精力的に行い、広く周知を図っていく。

また、令和7年度は、テーマを「生きる」から「いまを未来につなぐ」に変更し、丹波篠山の魅力を守り、次世代へつなぐための営みを送る人たちの「いま」を丹波篠山や日本、ひいては世界にその魅力を発信する大会とするべく以下の内容も取組に含め計画を進めていく。

- ・西垣吉春監督による映画「森の学校」ロケ地ツアー
- ・サイレント映画（生ピアノ伴奏つき）の上映・トークショー
- ・ライブラリー所蔵の昔懐かし映像等の上映（生涯学習センター会議室）
- ・VR体験等イベントの実施
- ・篠山産業高校生徒製作による来場記念品配布（会場にて受付時に配布）
- ・審査員の増員（ふるさと大使、丹波篠山国際博実行委員）

なお、丹波篠山映像祭は、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市及び丹波篠山映像祭実行委員会の共催とし、「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」については映像祭実行委員会に業務委託を行う。

①第37回丹波篠山映像大賞

- 開催日：令和8年2月15日（日）13時開会
- 会場：四季の森生涯学習センター多目的ホール
- 内容：
 - ・丹波篠山映像大賞（ファイナリスト作品上映、講評、最終審査）
 - ・「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」（優秀賞発表）
 - ・映像大賞結果発表・授賞式

②Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード

丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を撮影した1分以内の映像作品を募集し、実行委員審査を通過した作品及び、優秀賞受賞者を映像祭内で発表する。内容については実行委員会で検討する。

○委託内容

- ・映像大賞募集要項・映像祭開催時チラシ（新聞折り込み含む）制作
- ・映像大賞募集時 SNS 広告運営
- ・Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード運営 等